

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※ 投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。  
 また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間内の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュール等について記載する必要があること。

① 投資について検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI・DBOの導入等)	なし
施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング)	なし
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	なし
施設・設備の長寿命化等の 投資の平準化	施設の改築・修繕計画を策定し、投資の平準化をはかります。
広域化	なし
その他の取組	なし

② 財源について検討状況等

料 金	将来において料金の見直しを検討しています。
企 業 債	建設改良費については簡易水道事業債と過疎対策事業債を発行可能額の2分1づつ計上しています。
繰 入 金	一般会計からの繰入金につきましては、極力縮減するよう他収入の確保及び経費の節減に努めていきます。
資産の有効活用等(*2)による 収入増加の取組	活用できる資産がありません。
その他の取組	なし

\*2 遊休資産の売却や貸付、債券運用の導入、小水力発電や太陽光発電など

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委 託 料	なし
修 繕 費	施設及び管路の更新を計画的に行うことにより修繕費の縮減に努めます。
動 力 費	経費削減に向けて出来る取り組みを継続して行っています。
職 員 給 与 費	なし
その他の取組	なし

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	毎年、進捗管理(モニタリング)行い、適宜見直し(ローリング)を行うことによりPDCAサイクルを効率的に回して、本経営戦略の事後検証及び更新を行う予定としています。
-------------------------	---